

令和2年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・トビイロウンカ（No. 1）

令和2年8月5日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

8月3日現在、既に現地ほ場の一部でトビイロウンカの発生が確認されています。今後、本種の密度増加が懸念されますので、注意が必要です。防除時期は8月下旬以降と見込まれますので、要防除水準を超えた場合は直ちに防除を行ってください。

2 発生状況

- (1) 予察灯への初飛来は6月25日と非常に早かった（平年：9月5日、令和元年：7月4日）。また、6～7月の総誘殺数（4調査地点合計）は65頭と平年より多い（平年：1.3頭、令和元年：13頭）。
- (2) ウンカ類飛来予測システムの解析結果及び予察灯の誘殺状況から、6月中旬～7月下旬にかけて複数回の飛来があったと推測される（図1及び表1）。
- (3) 8月3日現在、県予察ほ場（鳥取市橋本、農業試験場内）及び防除所巡回調査定点の一部で、トビイロウンカ成虫及び幼虫が確認されている。
- (4) 8月3日現在、要防除水準（成幼虫数1頭/株）を超えているほ場は確認されていない。

3 今後の発生予測

- (1) 1ヶ月予報（8月1日～31日）によると、平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は高い確率50%と予想されている。また、3ヶ月予報によると9月の気温は高い確率50%と予想されている。これらの気象予報から、本種の増殖に好適な気象条件が今後も継続すると予想される。
- (2) 防除対象である第2～3世代幼虫は8月中旬頃より順次発生し、8月下旬以降、密度が急増すると見込まれる（図2）。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 大部分のほ場での防除時期は8月下旬以降と見込まれる。しかし、トビイロウンカの発生量は地域間差及びほ場間差が非常に大きいため、各時期の要防除水準を超えた場合は病害虫防除指針などを参考にして粉剤、粒剤などで防除を行う。
※8月中旬までの要防除水準：成幼虫数1頭/株
8月下旬～9月の要防除水準：成幼虫数10頭/株
- (2) 本種は同一ほ場でも発生に偏りがあるが、ほ場周辺より内部での発生が多い傾向にあるので、ほ場を広く観察することに努める。なお、坪枯れの前兆となる坪状のイネの黄化又は小規模の坪枯れの早期発見も有効な状況把握手段の1つである。
- (3) 今後の本種の発生は、移植期～出穂前後の防除状況によっても大きく異なる。特に次の①～③のいずれかに当てはまるほ場では、発生状況に注意が必要である。
 - ①育苗箱施用剤を使用していないほ場及びトビイロウンカに農薬登録されていない育苗箱施用剤を使用しているほ場
 - ②飛来したトビイロウンカに対して、感受性が低下している育苗箱施用剤を使用しているほ場

③出穂前後の防除を行っていないほ場

(4) 防除の際、本種の生息場所である株元に農薬が十分かかるように注意する。また、防除時期に降雨が続く場合でも、降雨の合間に防除を実施する。

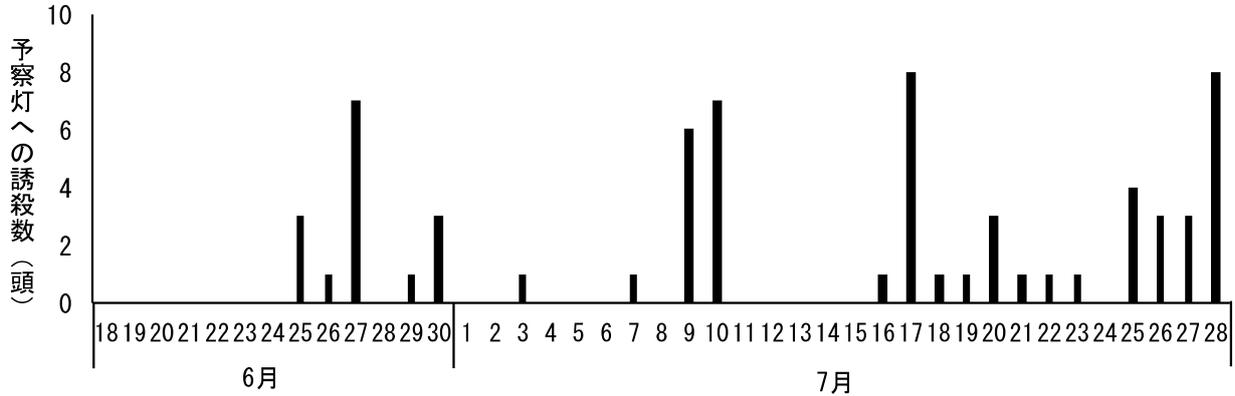


図1 予察灯へのトビイロウンカ誘殺状況 (令和2年7月28日現在)

注) 数字は4調査地点 (鳥取市、岩美町、琴浦町、日吉津村) の合計値

表1 ウンカ類飛来予測システムによる飛来予測日の出現状況

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
6月											●	●	●	●	●											●	●					●	/
7月	●						●	●	●		●	●		●	●								●		●	●							

注) ●飛来が予測された日

【中～平坦地】

予測開始日	8月						9月					
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
6月15日	幼虫	成虫/卵	幼虫			成虫/卵	幼虫					
6月25日	幼虫		成虫/卵			幼虫		成虫/卵			幼虫	
7月10日	成虫/卵		幼虫			成虫/卵		幼虫			成虫	
7月15日	成虫/卵		幼虫			成虫/卵		幼虫				
7月25日	幼虫		成虫/卵			幼虫		成虫/卵			幼虫	

【山間地】

予測開始日	8月						9月					
	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬
6月15日	幼虫	成虫/卵		幼虫			成虫/卵			幼虫		
6月25日	幼虫		成虫/卵			幼虫			成虫/卵			
7月10日	成虫/卵		幼虫			成虫/卵			幼虫			
7月15日	幼虫	成虫/卵		幼虫			成虫/卵			幼虫		
7月25日	幼虫		成虫/卵			幼虫			成虫/卵			

図2 有効積算温度によって予測されたトビイロウンカ各態の発生時期

注1) 予測開始日はウンカ類飛来予測システム及び予察灯への誘殺状況から推察した主な飛来日を示す。

注2) 8月5日以降の気温は気象平年値を利用した。

注3) 網掛け部分は防除対象の幼虫発生時期を表す。